

JEM1425-2000要求事項

項目	JEM1425要求事項	対応
標準使用状態	結露又は雨水を考慮する	屋外盤には結露対策としてスペースヒータなどを設ける
断路器	断路状態を見ることが出来る	断路器前面の保護板には、スリット若しくは監視窓を設ける
保護等級	外被に対してIP2XC以上 仕切板を設ける場合は仕切り板に対してIP2XC以上 保護板はIP1X程度	IP2XCを確保する IP2XCを確保する IP1Xを満足させる。
色別	三相 赤、黒、青 単相 赤、黒、青	原則として標仕に準拠し 三相 赤、白、青 単相 赤、白、黒
リフター	多段積みスイッチギヤにはリフターを附属する(標仕)	指示がなければ附属しない。 打合せにより要求がある場合は電気毎に1台附属

項目	JEM1425要求事項	対応
カバー及び扉	<p>金属製で閉じた状態では保護等級満足する(金網やエキスパンドメタルのようなものは不可)</p> <p>通気孔を設けた場合でも保護等級を満足させる</p>	同左
カバーの種類	<p>固定されたカバー 通常操作、保守で開く必要がないものは工具を使用して取り外し</p> <p>脱着式のカバー 通常操作で開く必要があるものは工具を使用しないで開放、取り外し、移動</p>	同左
保護板	<p>スイッチギヤのカバー及び扉は、主回路が無電圧の場合に限り開けるべきであるが操作、点検などのために充電状態でもやむを得ず開放する必要があるカバー及び扉には、安全性を考慮して主回路を隔離するためにJEM1267に規定する保護等級IP1X程度の『保護板』を設けることが望ましい</p>	<p>安全性を高めるため鋼板製とし内部が容易に確認できる通気穴を設ける</p>

項目	JEM1425要求事項	対応
主回路導体	主回路導体は銅帯を使用する(標仕)	12.5KA/1秒の短絡電流に耐えうる銅帯を使用する 母線の許容電流は600Aとする。
接地母線	接地母線は銅帯を使用しスイッチギヤの全長に渡って設ける。	銅帯を使用し地絡(短絡)電流に耐えうるサイズを使用する。
定格銘板	製造者、形式又は製造番号、定格電圧、定格耐電圧、定格周波数、規格番号(JEM1425)を記載し耐久性があり明確に読み取れるもの	記載内容は標仕に準拠し材質はシール 名称、形式、定格電圧、定格周波数、定格電流、定格短時間耐電流、定格商用周波耐電圧、定格雷インパルス電圧、製造者名及び請負者名、製造年月、製造番号、規格番号

12 JEM1425品とJISC4620品の比較

JEM1425とJISC4620の比較(JEMA技術交流会説明資料「ワンポイントアドバイス」より)
(2009.04.14に発行した技術本部連絡書に記載)

項目	JEM1425	JISC4620
概要	需要家・発電業者、その他全般に用いられるスイッチギヤで用途に応じて保護等級の選択可能である。仕様上、保護等級の各種性能を明記し 安全面を重視した規格 としている。	主に低圧受電を超えた小規模需要家を対象。高圧受電設備に限定して 機器を極力簡素化し、金属閉鎖箱に高圧受電機器を収納した設備 としている。
適用場所	ビル・工場、公共施設等、病院等の重要設備	小規模工場、高圧受電の商業ビル
保守性	盤内に隔壁部分を設け(母線室・遮断器室など) 部分停電時の作業の安全性 を考慮している。	高圧受電設備内の保守・点検時に 設備の停電 が必要となる
安全性	盤内構造に関して規定があり 扉解放時主回路充電部の露出が無い ように安全性を考慮し製作している。盤構造は、 主回路室・制御室との隔壁 があり機能毎の区画が行われている。また、盤間仕切板を設けることが多い。	高圧受電設備として使用する機器を金属箱内に収納しているため扉解放時主回路充電部の露出がある。(主回路充電部の 保護は、規格上の規定が無く製造者の判断 となる)

項目	JEM1425	JISC4620
信頼性	安全面・事故発生時の設備への対応が用途に応じて可能であり 保守性への考慮 も考えられていることから信頼性は高い。	安全面・事故発生時の設備への影響を考えると高圧受電設備としての 信頼性はJEMと比較すると劣る 。
特殊設計への対応	需要家の回路構成 に合わせて機器構成が可能である。	標準回路構成を基本 として機器構成が考えられている。
構造	充電部への接近及び可動部への接触に対する 人間の保護、外部影響に対する装置の保護、機械的影響に対する装置の保護、内部事故に対する保護 が可能。	現場取付、電線接続、開閉装置の操作、機器類の 保守点検 などが 安全かつ容易 にできる構造